

カリキュラム

D. データ活用	107表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
表計算ソフト活用	

コースの ねらい	表計算ソフトを活用する際、業務効率を向上させるために必要となる定型業務の自動化を実現するためのマクロの作成手法を習得する。
-------------	---

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義 内容	1 マクロの基本知識	(1)マクロ記録 基本的なマクロ記録の実践、マクロ記録の限界を学ぶ。 (2)VBAとは エディター(VBE)の起動、VBAとはどんな言語か、VBAの基本構造を学ぶ。 (3)プログラム開発環境 Excelの環境設定、セキュリティの設定 (4)プログラミング作業の流れ VBAによるマクロコードは「命令書」であること、モジュールの意味、 プロシージャ記述など標準的なコーディングの流れを学ぶ。	2.0
	2 基本文法	(1)プロシージャ、モジュール 標準モジュール、クラスモジュール、プロシージャ、サブプロシージャ、 ファンクションプロシージャ、コメントについて概要を学ぶ。 (2)プロパティ、メソッド オブジェクト式、ステートメント、関数といったVBAの構文を構成する要素を学ぶ。 操作の対象「オブジェクト」、オブジェクトの情報「プロパティ」、オブジェクトの機能 「メソッド」について学ぶ。 (3)オブジェクト 操作の対象「オブジェクト」、オブジェクトの階層構造、プロパティについて学ぶ。	4.0
	3 制御文法	(1)条件分岐処理 IFステートメントについて学ぶ。また複数のステートメントの組み合わせの実践も行う。 (2)繰り返し処理 FOR NEXTステートメントについて学ぶ。 また複数のステートメントの組み合わせの実践も行う。 (3)関数 MsgBox関数やInputBox関数など、汎用的なマクロ作成のための関数を学ぶ。 (4)ワークシート制御 シート名やシートのコピー、切り替えなど、シートの制御について学ぶ。 (5)ブック制御 ブックの開き方、開くブックをユーザーに選択させる方法、 保存方法などブック制御について学ぶ。	6.0

計 **12.0**